

公開シンポジウム

「AI時代のもの・コトづくりに向けた新たな計算科学活用における課題と期待」

開催趣旨

AIやデータ、情報科学との連携を視野に入れた新たなもの・コトづくりの手法として、計算科学に関するシミュレーション技術の効果的活用はサイバーフィジカルシステム（CPS）を推進する上で、重要度がこれから増々増加して行くと考えられる。

その中で、シミュレーションソフトウェアの現状を産業への実装を中心とした視点から俯瞰しながら、計算科学の研究成果を産業競争力強化に寄与しうる技術として発展させて裾野を広げ、それにより計算科学基盤を強化するという好循環を実現するため、今後解決すべき技術的・政策的課題、必要とされる人材およびその育成、ソフト開発者モチベーションの向上、情報分野など他分野との連携のあり方などについて議論を行う。

開催概要

- 日時： 2019年2月14日（木）午後1時00分から午後5時40分まで（受付開始午後12時30分）
- 会場： 日本学術会議講堂（東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5番出口；[地図](#)）
- 定員： 300名
- 参加費： 無料
- 参加申込： [申し込みフォーム](#)からお申し込みください。
- 主催： 日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会
一般社団法人日本機械学会，一般社団法人日本応用数理学会，一般社団法人日本計算工学会，
- 共催： 一般社団法人日本シミュレーション学会，一般社団法人可視化情報学会，日本計算力学連合，
CAE懇話会，日本計算数理工学会，アジア太平洋計算力学連合，国際計算力学連合
- 協賛： 公益社団法人自動車技術会

プログラム

時間	内容
13:00~13:05	開催の挨拶 越塚誠一（日本学術会議連携会員，東京大学大学院工学研究科教授）
13:05~13:10	シンポジウム趣旨説明 佐々木直哉（日本学術会議連携会員，(株)日立製作所 技師長）
テーマ1：競争力強化のための重要因子と課題の全体像	
13:10~13:35	計算科学における、AI、データ活用との連携のあり方 櫻井鉄也（筑波大学 人工知能科学センター 教授）
13:35~14:00	AI等データ活用時代における解析品質V&Vの考え方 吉田有一郎（東芝インフォメーションシステムズ(株)プロフェッションエグゼクティブ）
14:00~14:25	産業競争力に貢献する次世代スーパーコンピューティング技術の動向 I 常行真司（東京大学大学院理学系研究科教授）
14:25~14:35	休憩
14:35~15:00	産業競争力に貢献する次世代スーパーコンピューティング技術の動向 II 加藤千幸（日本学術会議連携会員，東京大学生産技術研究所教授）
15:00~15:25	ソフトウェア利活用における現状と課題（現状のエコシステムの課題） 吉村忍（日本学術会議第三部会員，東京大学大学院工学研究科教授）
15:25~15:50	人材育成と評価 萩原一郎（日本学術会議連携会員，明治大学研究知財戦略機構特任教授）
15:50~16:00	休憩
テーマ2：総合討論	
16:00~17:30	計算科学シミュレーションプログラムの開発、維持、管理、普及における産業競争力強化のためのモチベーション向上、エコシステムはどうあるべきか？ パネリスト 越塚誠一（東京大学大学院 工学研究科 教授） 加藤千幸（東京大学生産技術研究所 教授） 常行真司（東京大学大学院 理学系研究科 教授） 吉田有一郎（東芝インフォメーションシステムズ(株)） 櫻井鉄也（筑波大学 人工知能科学センター 教授） 萩原一郎（明治大学 研究知財戦略機構 特任教授） 吉村忍（東京大学大学院 工学研究科 教授） 大富浩一（明治大学 客員研究員） ファシリテーター 金田千穂子（日本学術会議連携会員，(株)富士通研究所 シニアエキスパート）
17:30~17:40	閉会の挨拶 佐々木直哉（(株)日立製作所 技師長）

※ プログラムは都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

お問い合わせ

[問い合わせフォーム](#)からお問い合わせください。